別紙１

評価の着眼点

１　企画力

＜最適な手法を決定するための企画力＞

・　民間市場調査で確認する事項・視点について、民間事業者が参入しやすいリスク分担やスキームの提案になっているか。

・　指定された期間内で確実に履行するための工程管理やアプローチの提案になっているか。

・　ヒアリングにおいて、専門知識、経験、ノウハウが感じられる提案ができているか。

・　ヒアリングにおいて、質問に対する応答が明快かつ適切か。

２　実施体制

＜実施体制に関する実務能力＞

・　業務内容が確実に遂行できるよう、官民連携導入検討業務またはアドバイザリー業務などに従事した経験を有する官民連携手法等に関する専門家（法務、財務及び技術的分野）が適切に配置され、円滑かつ効率的に業務を遂行することができる体制になっているか。

・　企業団と緊密な連絡調整ができる体制になっているか。

３　実績

＜類似業務に関する履行実績＞

・　本業務を履行するうえで、類似した業務実績（管路耐震化または更新に関する官民連携のアドバイザリー実績）がどれだけ豊富にあるか。